

だからこそ、プレミアム株式投資

-市場の下落局面に強さをを見せてきたグローバル・フランチャイズ戦略-

下記は、モルガン・スタンレー・グローバル・フランチャイズ・コンポジット*(以下、グローバル・フランチャイズ)のパフォーマンスを表しています。グローバル・フランチャイズは、「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(以下、マザーファンド)」の運用指図権限の委託先であるモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドによって運用され、当ファンドが投資するマザーファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドの運用実績とは異なります。また、当ファンドの将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。なお、運用報酬控除前、米ドルベース、配当および収益再投資のパフォーマンスです。グローバル・フランチャイズの運用開始日は1996年3月31日。*コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

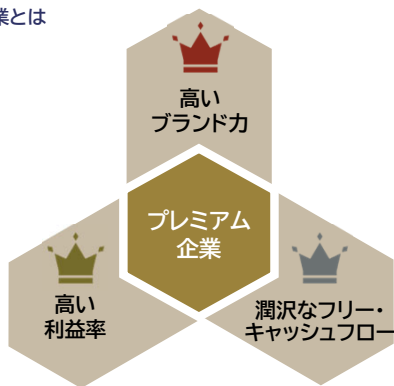
以下のパフォーマンス実績は当ファンドのものではありません。ご参考としてご覧ください。

プレミアム企業に厳選投資

プレミアム企業*は、ブランド力などを背景に、持続的な成長が期待される企業です。

*当ファンドにおいて、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。

プレミアム企業とは



プレミアム企業との1日

プレミアム企業は、人々の生活に不可欠で、リピート購入される家庭用品や、サブスクリプション方式*で継続利用されるソフトウェアを提供していること等から、外部環境の影響を大きく受けにくいことが期待されます。

7:00	朝食後、 フィリップ・モリス・インターナショナル のIQOSで1日がスタート。
9:00	出社後、 マイクロソフト のMicrosoft 365を使って資料を作成。
11:00	アクセントゥア に経営戦略を相談。
14:00	SAP のソフトウェア導入を検討するミーティングを実施。
15:00	アボットラボラトリーズ の血糖測定器で血糖値をチェック。
19:30	夕食を済ませて、 レキットベンキナー・グループ の洗剤 フィンニッシュ を食洗機に投入。
21:30	就寝前にネットショッピング。 ピザ のクレジットカードでお支払い。



* 製品やサービスの一定期間の利用に対して代金を支払うこと。
 左記は当ファンドの理解を深めていただくため、2022年6月末の組入銘柄から一例を紹介したものです。赤字は企業名、青字はブランド名です。なお、スケジュール・画像はイメージです。個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて左記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

下値抵抗力を発揮した運用

利益を得ながら長く保有することで、複利*効果が期待されます。グローバル・フランチャイズの年次リターンがマイナスとなったのは、2008年と2018年のみでした。

*元本に利益を足し合わせたものを新たな元本として計算すること。

年次リターン

(期間:1997年~2021年)

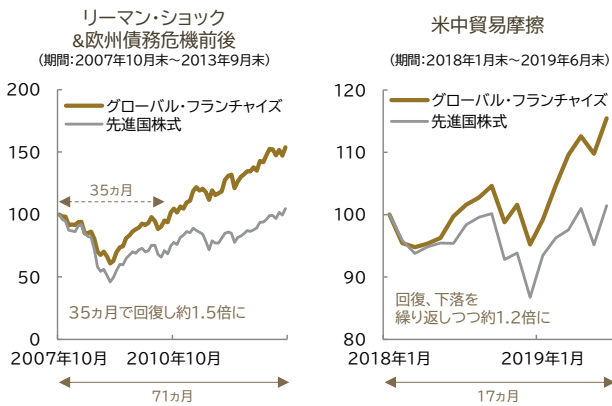
	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
グローバル・フランチャイズ	26%	16%	25%	30%	2%	9%	29%	15%	13%	23%
先進国株式	16%	24%	25%	-13%	-17%	-20%	33%	15%	9%	20%

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
グローバル・フランチャイズ	11%	-29%	32%	15%	10%	15%	21%	6%	7%	6%
先進国株式	9%	-41%	30%	12%	-6%	16%	27%	5%	-1%	8%

	2017	2018	2019	2020	2021 (年)
グローバル・フランチャイズ	27%	-1%	31%	14%	23%
先進国株式	22%	-9%	28%	16%	22%

下落局面別の月次パフォーマンス

株式市場の下落局面別でみてみると、下落してから価格が元の水準に戻る(回復)までの期間が相対的に短く、優れた回復力を見せてきました。

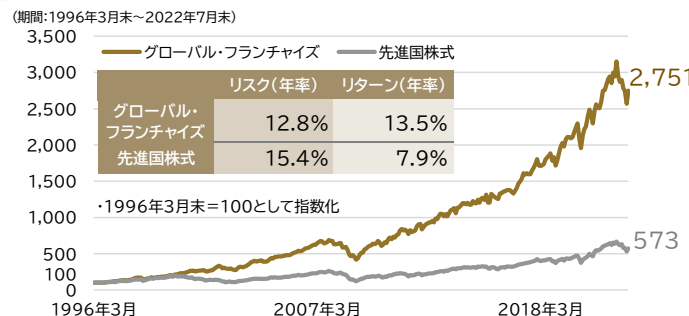


先進国株式において下落前を起点とし、月末ベースで下落前の水準を安定的に回復するまでの期間を計測しています。各期間の始点=100として指数化

長期で良好な運用実績

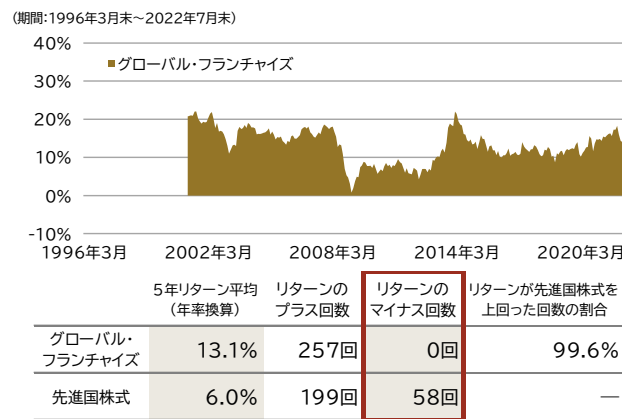
グローバル・フランチャイズは運用開始来で大きく上昇しました。また、グローバル・フランチャイズは、先進国株式よりも低いリスクで、高いリターンとなりました。

運用実績



期間5年リターンの推移

グローバル・フランチャイズはマイナスリターンが0回でした。



上記は、各月末における5年リターン(年率換算)を表しています。例えば、期間5年における2022年7月末のリターンは、2017年7月末~2022年7月末までの5年間のリターン(年率換算)を表しています。

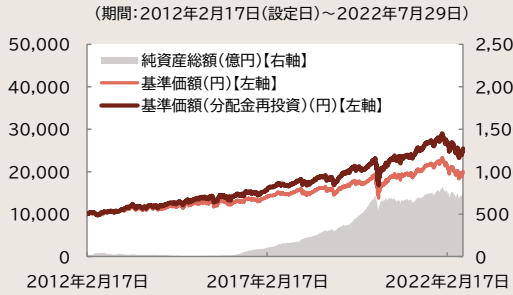
(出所)モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントのデータ、各社HPの資料を基に三菱UFJ国際信託作成

※本資料は「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) / (為替ヘッジあり) 予想配分金提示型 / (為替ヘッジなし) 予想配分金提示型」を投資家のみさまにご理解いただくために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスクなどについては投資信託説明書(交付目録見書)をご確認いただく必要があります。「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)」を「(為替ヘッジあり)」,「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)」を「(為替ヘッジなし)」,「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想配分金提示型」を「(為替ヘッジあり) 予想配分金提示型」と、ならびにこれらを総称して「当ファンド」ということがあります。【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

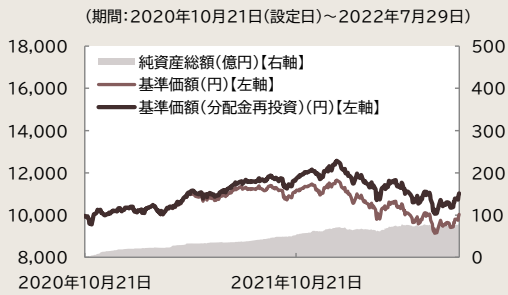
本資料では、市況推移の参考として先進国株式(MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み米ドルベース))を使用しています。なお、同指数は、グローバル・フランチャイズおよび当ファンドのベンチマークではありません。同指数に対する著作権およびその他の財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。運用実績におけるリターンは月次騰落率の平均を年率換算(月次騰落率の平均×12)したものであり、リスクは月次騰落率の標準偏差を年率換算したものです。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

基準価額、基準価額(分配金再投資)、純資産総額の推移

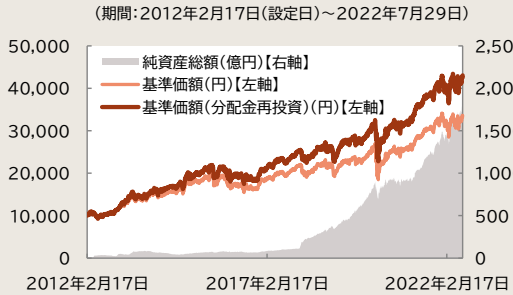
(為替ヘッジあり)



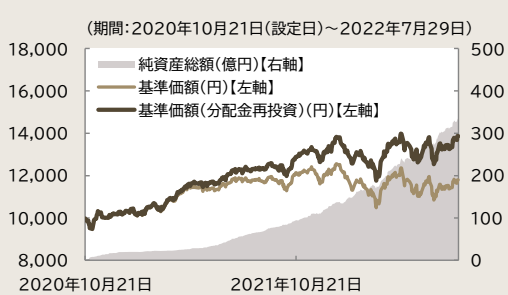
(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型



(為替ヘッジなし)



(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型



基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万円当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、右記の「ファンドの費用」に記載しています。基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しています。上記は、過去の実績・状況または作成時点での見直し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

受賞歴



(為替ヘッジあり)
 Morningstar Award
 “Fund of the Year 2019”

最優秀ファンド賞受賞

※国際株式型(グローバル) 部門



(為替ヘッジなし)
 Morningstar Award
 “Fund of the Year 2021”

優秀ファンド賞受賞

※国際株式(グローバル・除く日本)型 部門

当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量的分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(グローバル) 部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド546本の中から選考されました。Morningstar Award “Fund of the Year 2021”は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量的分析、定性分析に基づき、2021年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式(グローバル・除く日本)型 部門は、2021年12月末において当該部門に属するファンド967本の中から選考されました。Morningstar Award “Fund of the Year 2019”およびMorningstar Award “Fund of the Year 2021”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社ができると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等については保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

ファンドの目的

信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

1. 世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり利益の獲得を目指します。
 - ◆ 当ファンドにおいて「プレミアム企業」とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。
2. 銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。
 - ◆ 収益性、財務内容の分析に加え、保有する無形資産や経営陣の質などから利益成長の持続可能性を多面的に分析します。
 - ◆ 原則として、厳選した20~40銘柄に集中投資を行います。

3. モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。

4. 為替ヘッジの有無により、「(為替ヘッジあり)」、「(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型」、および「(為替ヘッジなし)」、「(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型」があります。
 - ◆ 「(為替ヘッジあり)」、「(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型」は、外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。為替ヘッジに関しては、委託会社が行います。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。
 - ◆ 一部の通貨については、その通貨との相関が高いと判断される代替通貨により対円で為替ヘッジを行うことがあります。
 - ◆ 「(為替ヘッジなし)」、「(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型」は、外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

5. 「(為替ヘッジあり)」、「(為替ヘッジなし)」は、年1回(毎年2月23日(休業日の場合は翌営業日))決算を行い、収益の分配を行います。「(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型」、「(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型」は、毎月の決算日(毎月23日(休業日の場合は翌営業日))の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。
 - ◆ 分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

- <(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)>
- ◆ 委託会社が基準価額水準、市場動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります)
- <(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型、(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型>

◆ 原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、右記の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、右に記載された分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

※基準価額が右記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。※基準価額の値上がりにより、分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える分配金テーブルに該当することによって資金が不足する場合は、テーブル通りの分配ができないことがあります。※右記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

市場動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

- <収益分配金に関する留意事項>
- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

投資リスク

基準価額の変動要因: ファンドの基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動や為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみならずにも帰属します。したがって、投資者のみならずも投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

【購入時手数料】購入価額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)** 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。
 【信託財産留保額】ありません。
 【運用管理費用(信託報酬)】各ファンドの日々の純資産総額に対して、**年率1.980%(税抜 年率1.800%)**をかけた額【その他の費用・手数料】監査法人に支払われる各ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を保有する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等
 ※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。
 ※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)については、毎計算期間の最初の6か月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型/(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型については、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料に関するご注意事項等

■本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しい最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは

販売会社は右記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

●設定・運用は



三菱UFJ国際投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 (受付時間: 営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス: <https://www.am.mufj.jp/>